

犬の白内障は治る？犬の白内障の症状・原因・初期の予防・治療方法などを解説

「散歩をしたがらなくなる」「周りの物や壁によくぶつかってしまう」「目を覗くと眼球が濁っている」など、愛犬の様子がおかしいときは、犬の白内障にかかっている可能性があります。今回は、犬の白内障について、どのような病気なのか、その症状や治療方法などについてお伝えしていきます。



犬の白内障とは



犬の白内障とは、目の中にある水晶体の部分に白い濁りがみられるようになり、視力が低下していく病気のことを指しています。犬の白内障は、症状が進行すると、最悪の場合は失明する可能性もあり、症状がみられた場合は早期の治療が必要となります。

犬の白内障の原因

犬が白内障となる主な原因としては、年齢を経ることによる衰えのほか、糖尿病などの疾患による併発、白内障以外の目の病気による影響、親の犬からの遺伝、外傷からの発症などが挙げられます。

犬の白内障の症状でみられる4つのステージ

①初発白内障

初発白内障とは、水晶体の部分に少しだけ濁りがみられる程度で、ほとんど視覚異常のない状態です。犬も症状に気づかない程度のレベルであるため、普段と変わらない生活を送っており、飼い主も、初発白内障の段階で異常に気づくことはほとんどできないでしょう。

②未熟白内障

未熟白内障とは、少しずつ白内障が広がっていく段階を意味しています。このあたりから、愛犬の行動にも徐々に異常がみられるようになってきます。

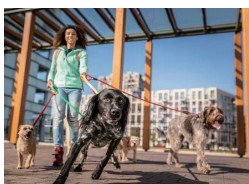
③成熟白内障

成熟白内障まで症状のステージが進行すると、愛犬の目を覗き込めば、獣医師ではなく、飼い主さんが見ても「これは白内障だ」とわかるほど、水晶体が白く濁ってきます。

④過熟白内障

過熟白内障のステージまで症状が進むと、濁った水晶体が溶け出し始めます。そのため、一時的に目が透明になったかのように見えます。しかしながら、実際は白内障の症状が末期状態まで進行しているため、炎症や、他の病気を併発する可能性が高まっている危険な段階だと言えます。

犬の白内障の予防方法



犬の白内障は、酸化ストレスを減らすことや、ビタミン（ビタミンC、ビタミンE）・ミネラル（セレン、亜鉛、マンガン、銅）・フィトケミカル（リコピン、アントシアニン、β-カロテン、カテキン）・コエンザイムQ10・アスタキサンチンなど、抗酸化栄養素を豊富に含む食材やサプリメントを与えることで、白内障の予防につながる可能性があります。

犬の白内障の具体的な治療方法

①犬の白内障の目薬

犬の白内障の症状がみられる場合、内科的な治療方法として、目薬による治療が行われます。ただし、目薬による治療は、犬の白内障の症状が進行することを抑える程度に留まるため、目薬だけでは完治させることはできません。

②犬の白内障の手術

犬の白内障を完治させたい場合には、外科的な治療方法として、眼科専門医による手術があります。犬の白内障の手術方法としては、症状の進行によって白く濁った水晶体を取り出し、代わりに人工レンズを挿入します。これによって、視力の回復が見込めます。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

☎ LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

